発表会支援タイマーアプリ

要件定義書

最終版

2020年　1月　22日

システム開発演習B

*g1872083・帆足 拓海*

1. 背景

　　研究所の発表会にて、時間管理の担当者が時間経過に応じてベルを鳴らしていたが、鳴らし忘れや議論の白熱時に鳴らしにくく鳴らせない、鳴っても発表者がすぐに止めないといったことが発生し、いつも時間が予定よりもオーバーしてしまったため、アプリケーションに時間管理を頼み、きちんとベルがなり、時間オーバーをしないようにしたい。

1. 課題

現在、明らかになっている課題は次のとおりである。

1. 人が行っていたため、鳴らし忘れが発生
2. 人が行っていたため、議論の白熱時に割って入ってベルを鳴らせなかった
3. ベルが鳴っても発表者がすぐに発表を止めない
4. 目的・方針

２．に挙げる課題を解決しながら、研究所の発表に於いて時間オーバーを防ぐことを目的として、タイマーアプリケーションの開発を行う。導入に当たっては、次の方針を掲げるものとする。

1. 研究所の発表会にて、時間オーバーをしないように確実に発表時間等の時間管理を行う
2. 発表者にタイマーの存在を強く主張する
3. 軽量なアプリケーション
4. 多色採用
5. ユーザーが戸惑わないUI
6. 概要

本アプリは、発表会の時間オーバーを防ぐため、指定された2つの時間設定に基づきタイマーを実行・表示し、終了1分前や終了時に音と光で発表者に時間を気づかせ、既定時間を遵守させる。

５．用語の定義

(1) Android端末

Android5.0以上が搭載されたスマートフォン/タブレット端末

(2) 利用者

発表会のタイムキーパー及び発表者本人。

６．機能

1. 発表時間を10分20分30分、質問時間を5分10分から選べる
2. 終了の1分前に特別なベルが鳴る
3. 終了時間には少ししつこくベルが鳴る
4. 質問時間が終わったら関西弁の合成音声で「時間終了です。議論はのちほどお願いします」と発音(関西弁での合成音声は難しい可能性が非常に高い)
5. 経過時間と残り時間が表示
6. g残り時間が近づくと文字の色が変わったり、点滅したりする
7. 間違って画面を触っても止まらない
8. 時間設定を間違えてもすぐにタイマーを再設定できる

７．　システム化の範囲

本アプリでは、タイムキーパー担当者もしくは発表者が利用者として本アプリを利用することとする。利用者がタイマー実行前に発表時間を設定し、タイマーを開始することで、発表時間から質問時間まで自動でそれぞれカウントダウンを行う。また、発表者の入れ替え等はケースによって異なるため、発表会全体の時間管理の自動進行は行わず、利用者が発表会支持に毎度タイマーを実行するものとする。

８．　導入・移行計画

1. 完成したapkファイルを利用者が端末にインストールする

９．　運用・保守

1. 運用は、利用者が使用するAndroid端末で当アプリを起動する
2. 不具合があった場合は作成者に連絡を行い、作成者が不具合の修正を行う。

１０．　工程計画

仕様凍結 ：　2019年12月17日

設計完了 ；　2020年1月18日

開発完了 ：　2020年1月21日

試験完了 ：　2020年1月22日

導入 ：　2020年1月24日

１１．　体制

1. 帆足拓海は、システムに対して導入まで責任を持って対応する
2. 帆足拓海は、運用保守に対して責任を持ち、不具合修正を実施する

１２．　成果物

1. 要件定義書
2. 外部設計書
3. 内部設計書
4. 試験成績書（授業中に動作確認予定）
5. 製造プログラムファイルー式
6. マニュアル（運用、保守、操作）（今回は不要）

以上